

する考古学資料の展示をおこなうなど町民の学習ニーズに応えるとともに、ふるさと薩摩の館の適切な維持管理に努力します。

更に集落の統廃合は、自治公民館長さんと連携を図りながら集落での話し合いをお願いしてまいります。

施設等の整備は、農村環境改善センター・B&G海洋センター及び校区公民館の必要性や実情を踏まえて改修に努めたいと考えています。特にB&G海洋センターは昭和58年に建設し老朽化していますので、B&G財団の修繕助成を受け整備を進めます。



〔財源確保〕

これに見合う財源として地方交付税15億1,180万円(35・69%)、地方債10億5,290万円(24・86%)、繰入金7億2,833万6千円(17・19%)、町税2億3,719万3千円(5・60%)、国県支出金4億6,227万5千円(10・91%)等を措置計上しました。平成16年度の予算は、歳入歳出ともに42億3,600万円です。

〔国民健康保険特別会計〕

老人保健医療制度の年齢引き上げや高齢化の進展により、年々医療費が増加しています。本年度は国より医療費抑制計画策定の指定を受けました。これは若年期からの生活習慣の見直しを図り、生活習慣病の予防措置を講ずる事が必要であると考えています。基本健診や各種がん検診の勧奨、検診結果報告会による指導、精密検査や人間ドック受診に対する助成をおこない、早期発見、早期治療による医療費抑制に取り組みます。

〔老人保健医療特別会計〕

平成14年10月より対象が70歳から75歳に引き上げられ、年次的に公費の割合が30%から50%に引き上げられました。今後ますます高齢化は避けられないものとなってきており、老人医療費の適正化を図るため、訪問指導による各種健診の勧奨や重複診療の適正指導、レセプト点検の充実強化に引き続き取り組みます。

〔介護保険特別会計〕

制度発足より5年目を迎えました。第2期目の保険料基準月額額は3,600円と据え置いています。最近介護サービスを受ける方が急増しています。また制度改正などにより、施設介護より在宅介護の利用が増えていきます。制度の健全な発展を考えると、寝たきり予防対策や元気老人対策が非常に重要であると思えます。今後も利用者から信頼されるサービスの確立を図るとともに、財政との均衡を図りながら事業運営をおこないます。

〔簡易水道特別会計〕

簡易水道事業は、課の設置条例をお願いし、本年4月より事業の一層の充実を図りたいと考えています。現在全体の給水人口は3,146人、給水戸数は1,197戸で普及率は80・6%です。



平成13年度から実施の薩摩簡易水道の施設整備事業は、一部繰り越し分を除いて完了しました。これにより石綿管等老朽管の更新並びに集中監視遠隔システム装置の整備が完了し、今後の維持管理の節減が図られる予定です。金山地区の水道事業は、早期整備

の要望が強く水源の確保や事業参加者等の問題が解決。平成16年度から2力年計画で新たに拡張整備事業に着手し、薩摩簡易水道事業へ編入する計画です。今後も地域全体が事業参加いただけるよう推進啓発に努めます。また求名簡易水道事業は、基金繰り入れをおこない集中監視遠隔システムの整備を図り、維持管理の節減に努めます。なお白猿地区営農飲雑用水事業は、平成16年4月から薩摩水道事業に統合編入し、一体的維持管理に努める計画です。今後も簡易水道事業は、安心・安全な水の安定供給に努めます。

本年度の予算規模は、一般会計42億3,600万円、国民健康保険特別会計4億9,837万1千円、簡易水道特別会計2億8,013万6千円、老人保健医療特別会計9億8,866万8千円、町立診療所特別会計1億4,504万8千円、介護保険特別会計5億0,166万1千円、合計66億4,988万4千円です。